

第一部 13:00~15:20

土木学会の挑戦 —地方創生に向けた 「安寧の公共学」を目指して—

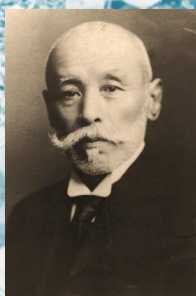
我が国では災害の頻発・激甚化に伴い、社会資本整備の重要性が増す一方、人口減少時代へ突入し、特に地方における活力低下が問題になってきています。これからの社会資本整備には、災害に対する脆弱性の克服という既往の使命に加え、自然共生や生物多様性、気候変動などのグローバルな課題にこたえつつ、地方の個性・魅力を引き出すという多面的機能を備えることが必須です。これらの視点は、個別分野の議論にとどまり、いまだ共通認識にはなりえていません。本シンポジウムでは、近年の社会資本整備の現況と課題、今後の方向性について話題提供し、地方の社会資本整備の在り方についての公開討論を行います。そして、土木学会の大きな挑戦である「安寧の公共学」構築に向けて取り組むべき課題・方策について議論を深めます。

話題提供：二井昭佳(国土舘大准教授) | 真田純子(東京工業大准教授) | 高尾忠志(九州大准教授) 討論会：大石久和(土木学会会長) | 島谷幸宏(コーディネーター・九州大教授)

第二部 15:20~16:45

土木偉人映像展 —古市公威—

土木学会初代会長・古市公威を取り上げます。「将ニ将タル人ヲ要スル場合ハ土木ニ於テ最多シトス」と土木の総合性の尊重を主張したことで知られますが、現代土木に求められる多面的観点にも通ずる主張の神髄を皆さんと探っていきたいと思います。解説には高橋裕東京大学名誉教授をお迎えいたします。



古市公威
(土木学会所蔵)



主催：土木学会 共催：日本建設業連合会・建設コンサルタンツ協会・セメント協会・電気事業連合会・日本橋梁建設協会・日本港湾空港建設協会連合会・日本鉄道施設協会・日本道路建設業協会・プレストレスト・コンクリート建設業協会・日本埋立浚渫協会・全国上下水道コンサルタント協会・関東地域づくり協会 後援：厚生労働省・国土交通省・総務省(予定) (写真提供：林博徳 九州大学助教)



土木 の 日

シン
ポ
ジ
ウ
ム

2017年

11月23日(祝)

13時00分～ (受付 12時30分)

土木学会講堂

(東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内)

参加費
無料

お申込み

<http://www.jsce.or.jp/event/>